



パシオン通信

312号

発行日：2026.2

株式会社パシオン

代表取締役 H・H

新年を迎え、

パシオンの役員の皆さんにご挨拶を頂きました

明けましておめでとうございます。皆様それぞれ新たな気持ちで良い年を迎えられたことと思います。

2026年の日本の実質GDP成長率は約 +0.7~0.8%程度と見込まれています。

春闘で賃上げが続く可能性や、物価上昇率が一定程度維持されることで個人消費の支えになる効果が期待されています。輸出環境が厳しい中、個人消費と設備投資の底堅さが日本経済を支えると見られていますが、アメリカ合衆国トランプ政権は強硬な関税政策を推進しており、貿易環境を複雑化させています。こうした関税措置が続けば日本の実質GDPを押し下げる可能性があります。関税は日本企業の輸出コストを上げ、特に自動車・製造業セクターへの打撃が懸念されます。

こうした中、第30期は、2025年4月から株式会社パシオンとサンアクセス株式会社が合併し新しくスタートし両社の強みを最大限に活かし、さらなる市場競争力の創出をめざし頑張っております。皆様の頑張りにより対予算比で売上、経常利益ともに予算達成に向かって推移しています。

皆様の今後の活躍とご家族方にとってよい年になりますことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

取締役 O・T

明けましておめでとうございます。

皆様もそれぞれ新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。今回の年末年始休暇は、9連休の人が多くゆっくり休めたと思います。

昨年は、自民党の高市早苗総裁が第104代の首相に選出されました。憲政史上で初の女性首相として、維新との連立政権をスタートさせましたが、今年に入って、高市首相は通常国会の冒頭で衆院を解散しました。内閣支持率が高いうちに総選挙をして自民の議席を増やし、政権基盤を安定させる狙いがあるとみられています。選挙の各党の公約には、消費税減税が多く掲げていますが、消費税は社会保障財源と地方税に配分されていて、その穴埋めの財源が不透明です。

円安の影響で物価高も続いていて、今後の政治・経済も不透明ですが、社員一同、力を合わせ会社を発展させていきましょう。

私事ですが、昨年暮に伊豆半島に旅行に行ってきました。天気が良かったので12月30日の日の出と日の入りが見えました。新年の日の出ではないですが同一日で両方見れたのは珍しいと思い投稿しました。

最後になりますが皆様の活躍とご家族にとって良い年になりますことを祈願し年始の挨拶とさせていただきます。



2025.12.30 日の出



2025.12.30 日の入り

新年あけましておめでとうございます。

日々の業務の中で、それぞれの役割を大切にしながら会社を支えてくださっている皆さまに、心より感謝申し上げます。

総務として、皆さまが安心して働ける環境や、日々の業務が少しでも進めやすくなるよう、現場の声に耳を傾けながら丁寧に整えていきたいと考えています。小さな気づきや改善を大切にしながら、皆さまと共に歩んでいける一年にしたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年明けましておめでとうございます。

今年は午年です。十二支のなかでも、午は成長や成功・繁栄のシンボルとして、縁起がよいものとされています。

また、今年の干支は「丙」でもあり、植物の成長にたとえると、「芽が成長し、葉が広がり、成長が著しい状態」を意味するそうです。

世間では、丙午は大相場の始まりと言われたり、大きな飛躍を遂げる年とも言われています。

パシオンという社名は情熱という意味合いも持っていますが、情熱を持って新たな挑戦する年として捉えていきたいと思えます。

私自身、今年一年、精一杯に遊びや趣味、新しいことへの挑戦、そして最後に仕事にも前向きにチャレンジしていきます。

皆様にとっても幸多き年になりますように。

どうぞ、本年も宜しく願い申し上げます。

憧れのモロッコ 顧問 Y・K

新年明けて早ひと月、年を取ると本当に日々早くて驚きます。

さて昨年11月、友人に誘われて長年憧れていたモロッコに行ってきました。

まず、想像以上に遠くて驚きました。羽田からドーハ（カタール）乗り継ぎでモロッコのカサブランカまで行くのですが、乗り継ぎ時間も入れるとほぼ一昼夜です。

羽田を23時に出発して、長い飛行時間に耐えカサブランカに着いたのは翌日の15時頃。そこからその日の宿泊シャウエン（モロッコ北部の青い迷宮都市）まで車で途中夕食をとりホテルについたのは22時近かったと思います。やっと着いたと自宅に電話したら、「早朝から何事かと思った」と。日本はモロッコより8時間早いという時差を忘れていました。その後は指折り8時間プラスして電話するよう心掛けました。が、やっと足を延ばしてベッドでゆっくり眠れました。

翌日午前中は美しいシャウエンの街を自由散策。階段を上ったり下ったり細い道の奥まで入って行っても、壁は青く織物や陶器等を売っている小さな店があります。もっとゆっくり楽しみたかったのですが、午後からは古都フィズに移動です。

フェズは革製品が有名で、皮をなめすタンネリを見学しました。その帰り道、狭い通路で皮を運んでいるロバと遭遇し、2人して壁とロバに挟まれて階段から落ちそうになり悲鳴を上げました。ロバ引きのおじさんは嬉しそうに笑ってましたけど。

フェズの旧市街（メディナ）は世界遺産にも登録されており、この街も迷宮（迷路）の街で、細い道が複雑に入り組み、元の場所に戻れないことも多いとガイドブックに書かれています。



シャウエン



フェズのタンネリ



皮を運ぶロバ



リヤド

狭い道の先にも色んな店や市場がありとても面白くて、案の定迷子になりました。フェズのホテルはリヤドと呼ばれるモロッコ独特のホテルで、歴史的な建物をそのままホテルとして使っています。利便性は悪く、部屋の鍵も微妙だったけど、建物・部屋・中庭など中世にタイムスリップしたような素敵なホテルです。朝食は、ホテル中央の吹き抜けのレストランでモロッコ版「杉下右京」がミントティを入れてくれました。モロッコではミントティが一般的で、どここの市場でも生のミントの葉が売られています。



モロッコの杉下右京

翌日は朝からひたすら移動で南西部の街マラケシュまで。マラケシュも夜遅くまでにぎわっている大きな

市場があり、私はそこで生まれて初めてエスカルゴを食べました。屋台なので不安でしたがスープまで美味しかったです。ちなみにモロッコは、どの街に行っても道端や建物の中にも猫がいるのですが、いわゆる野良という感じはなく地元民に飼われている感じです。ミャ〜と人懐っこく寄ってくるので、思わずしゃがみ込んで撫でようとして友人に怒られました。が、その友人はというと、どこに行っても日本語で値切り倒し、その恩恵を受けるのは私なのです



市場



市場の猫団子

そして翌朝8:00、いよいよサハラ砂漠の玄関口ザゴラに向けて出発です。何も無い、ひたすら平らで雄大な地を車でひた走るのですが、時折モスクを中心にした小さな村が現れます。そこはまるで今もアラジンの世界が広がっているような錯覚を覚えます。そして遠くに険しい山々が見えはじめ、その山々（アトラス山脈）を越えてザゴラに着いたのは、夕方17時過ぎでした。

そこからラクダに乗ってサハラに還る夕陽を見に行きました。目の前に広がるサハラ砂漠の雄大さと神秘さに心奪われました。そして陽が沈むと、ミルキーウェイもはっきり見えるほど美しい星空が、地平から地平まで180度？360度？さえぎる山もなく見えるところすべてが満天の星空。感動過ぎて言葉が失いました。

明け方、友人から「早く起きて！星が消えていく」と起こされ、外に出ると夜明け前の星空にほんの少しづつ光を取り戻す空は、小さい星から順に本当に消えていくように夜空に吸い込まれていきました。

翌朝キャンプで働く青年から「ここから20km先はもうアルジェリアだよ」と教わり、「VIVANT」のワンシーンを思い出しました。

とにかく、異文化であり別世界であり、感動と感激の連続、楽しくて忘れられない旅に誘ってくれた友人に感謝です。



親睦会イベント報告



11月29日、30日に伊豆さくら山荘で忘年会を行いました。

さくら山荘が2026年5月に閉館することもあり、久しぶりの宿泊忘年会でした。2次会ではOさんがカードゲームを持ってきてくれて、みんなで楽しいひと時を過ごしました。



ご報告

12月15日、16日にISMSの継続審査が行われ、無事に認証継続となりました。

各委員会、事務局の皆さま1年間おつかれさまでし

パシオン通信の発行が遅くなり申し訳ございません。
今年度も原稿のご協力をお願いすることがありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ハラスメント相談窓口



育児介護相談窓口



〒221-0056
横浜市神奈川区金港町1-7
横浜ダイヤビルディング 25階

電話 045 (450) 1921
FAX 045 (450) 1922

ホームページ
www.pasion.co.jp

本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。